

事務事業マネジメントシート(平成27年度実績と平成28年度計画)

平成29年 2月28日更新

事務事業名		愛玩鳥獣登録事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連					
総合計画体系	政策	2	緑豊かな環境と共生するまちづくり				所属部	事業部	課長名	森山 邦彦	
	施策	9	住環境の充実				所属課	農政課	担当者名	井芹 和幸	
	施策の柱	27	みどりの景観の保全				所属班	農政班	(内線)	1175	
予算科目		会計一般	款6	項2	目1	事業連番10202	根拠法令	合志市鳥獣捕獲許可(愛がん飼養目的)及び鳥獣飼育登録実施要領 合志			成果優先度評価結果: ⑫ コスト削減優先度評価結果: ⑥
終了、開始年度		☐ 27年度で終了 ☐ 27年度から開始					事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)			

★事務事業の概要(PLAN)

【事業の内容】	メジロ(新規、更新)、ホオジロ(更新のみ)登録事務県からの権限移譲のため、平成19年度より市の事務となった。 ※19年度から新規での飼養はメジロのみ。ホオジロは登録更新のみ。24年度からはメジロの新規登録も不可となり、新規の愛玩飼養は原則禁止となった。
【業務の流れ】	申請書受付、手数料調定・納付書発行、登録証発行、台帳記載
【主な予算費目】	歳入として手数料
【意見や要望】	特になし

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分	
①手段(主な活動) 27年度実績(27年度に行った主な活動)(DO)		28年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)	
事業内容と同じ。登録更新事務は1月から。		メジロ、ホオジロの登録事務(更新のみ)。 場合によっては譲渡受付、飼養廃止受付。	
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由	
⇒ア 受理件数	件		
⇒イ			
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	(単位)	②対象指標(対象の大きさを表す指標)	
市民	人	⇒ア メジロ、ホオジロを飼育している人	
		⇒イ	
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)	
メジロ・ホオジロの飼養を継続することが出来る。	件	⇒ア 新規登録数	
		⇒イ	
*③成果指標設定の理由と28年度目標値設定の根拠 平成19年からホオジロの捕獲が禁止され、24年度からはメジロの捕獲も禁止となった。			総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2)各指標・総事業費 の推移			単位	25年度 実績(決算)	26年度 実績(決算)	27年度 目標(当初予算)	27年度 実績(決算)	28年度 目標(当初予算)	29年度 予定	30年度 見込	31年度 見込
① 活動指標		ア イ	件	4	4	3	3	3	3	4	0
② 対象指標		ア イ	人	4	4	3	3	3	3	4	0
③ 成果指標		ア イ	件	0	0	0	0	0	0	0	0
投資 入費 量	事業 内訳	財 源 内 訳	国庫支出金	千円							
			都道府県支出金	千円							
			地方債	千円							
			その他	千円							
			繰入金	千円							
			一般財源	千円							
	(A) 事業費計	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	人件 費	正規職員従事人数	人	3	3	2	3	2	2	2	0
		延べ業務時間	時間	85	85	80	62	80	80	80	0
		(B)人件費計	千円	338	338	318	230	318	318	318	0
トータルコスト(A)+(B)			千円	338	338	318	230	318	318	318	0

事務事業名	愛玩鳥獣登録事業	所属部	事業部	所属課	農政課
-------	----------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部（CHECK）

*原則は27年度の後評価、ただし複数年度事業は27年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①27年度目標達成度評価	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【原因】 24年度から愛玩飼養の新規登録ができなくなったため、24年度以降は更新の受付と飼養廃止の受付のみを行っている。
	②28年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 メジロ・ホオジロの飼養者は更新が必須であるため。
有効性評価	③成果の向上余地	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】 メジロ、ホオジロを飼育している人が対象のため。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☒ 他に手段がない ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似の目的を持つ事務事業は他にない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 事業費を伴わず人件費のみであるため。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 本事業への職員の対応を少なくすることは難しい。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 メジロ、ホオジロを飼養する人すべてが対象である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 県からの権限移譲されているため、市が行うしかない。

3 評価結果の総括（CHECK）

新規での飼養登録ができなくなったため、登録更新事務が主となっている。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可

☐ 廃止

☐ 休止

☐ 目的再設定

☐ 事業統廃合・連携

☐ 事業のやり方改善（有効性改善）

☐ 事業のやり方改善（効率性改善）

☐ 事業のやり方改善（公平性改善）

☐ 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）

(2) 改革・改善による期待成果

(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持			
	低下			

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策